東京フィルハーモニー交響楽団

2020 東京フィルの

1发0

第6回 渋谷の午後のコンサート 2020.7.2(木) 12:00公演/15:00公演 Bunkamura オーチャードホール

第84回 休日の午後のコンサート 2020.7.23(木·祝) 12:00公演/15:00公演 東京オペラシティ コンサートホール







©上野隆文

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます ホールに満ちるオーケストラの響きを 心ゆくまでお楽しみください

東京フィルハーモニー交響楽団

※谷のなり後のコンサート。

7.2(未) 12:00公演/15:00公演 Bunkamura オーチャードホール

Thu. July 2, 2020, 12:00 Start /15:00 Start at Bunkamura Orchard Hall

<第2の国歌を知っていますか?>

"Do You Know the Second National Anthems?"

指揮とお話 尾高忠明 Tadaaki Otaka, conductor & speaker

ピアノ 髙木竜馬 * Ryoma Takagi, piano

コンサートマスター 近藤 薫 Kaoru Kondo, concertmaster

エルガー: 行進曲 『威風堂々』 第1番 二長調 Op. 39-1 (約5分)

Elgar: Pomp and Circumstance March in D major, Op. 39-1 (ca. 5 min)

ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 Op.18* (約40分)

Rachmaninov: Piano concerto in C minor, Op. 18 (ca. 40 min)

シベリウス:交響詩『フィンランディア』Op. 26 (約4分)

Sibelius: Finlandia, Op. 26 (ca. 4 min

J.ウィリアムズ:組曲『スター・ウォーズ』より (約 15分)

J. Williams: Excerpts from "Star Wars" suite (ca. 15 min)

主催:公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業) | 独立行政法人 日本芸術文化振興会

協力:株式会社河合楽器製作所 協力:Bunkamura

Presented by Tokyo Philharmonic Orchestra

Subsidized by the Agency for Cultural Affairs Government of Japan | Japan Arts Council

In Association with Kawai Musical Instruments Manufacturing Co., Ltd.

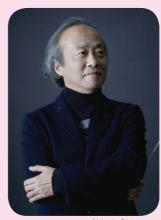
In Association with Bunkamura



※本公演には休憩はございません。

- ※本公演においては公演中もご入退場いただけます。再入場·途中入場の際には入場券 記載とは異なるお席への着席をお願いすることがございます。
- ※お帰りの際には、<ご来場者のご氏名・ご住所・電話連絡先>をご記入いただいた入場 券はがきをロビーの回収箱に投函してお帰りください。ご協力をお願い申し上げます。
- As there will be no intermission during the concert in order to preserve social distancing, entering and exiting during the performance will be tolerated. If you do not feel well, please exit or enter as you need. However, please mind the other listeners so that they will be minimally disturbed.
- If you enter or reenter in the middle of the concert, we may escort you to a seat different from the one you were originally assigned.
- Please write your name/address/phone number in the permission post card, and post it in the collection box in the lobby before you leave the concert. We would sincerely appreciate your cooperation.

出演者プロフィール



@Martin Richardson

指揮とお話 尾高 忠明

Tadaaki Otaka, conductor & speaker

東京フィルハーモニー交響楽団 桂冠指揮者

1947年生まれ。国内主要オーケストラへの定期的な客演に加え、ロンドン響、ベルリン放送響など世界各地のオーケストラへ客演。これまで1991年度第23回サントリー音楽賞受賞。1993年ウェールズ音楽演劇大学より名誉会員の称号を、ウェールズ大学より名誉博士号を、1997年英国エリザベス女王より大英勲章CBEを授与された。さらに1999年には英国エルガー協会より、日本人初のエルガー・メダルを授与されている。2012年有馬賞(NHK交響楽団)、2014年北海道文化賞受賞。現在NHK交響楽団正指揮者、札幌交響楽団名誉音楽監督、BBCウェールズ・ナショナル管弦楽団(旧BBCウェールズ交響楽団)桂冠指揮者等を務めている。東京藝術大学名誉教授、相愛音楽大学、京都市立芸術大学音楽学部客員教授、国立音楽大学招聘教授を務めている。



ピアノ 髙木 竜馬

Ryoma Takagi, piano

2018年9月にノルウェーのベルゲンで開催された『第1回グリーグ国際ピ アノコンクール』で第1位、並びに聴衆賞を受賞した他、7つの国際コンクール で優勝。NHK総合アニメ『ピアノの森』雨宮修平のピアノ演奏を担当。サント リーホール、みなとみらいホール、新国立劇場、紀尾井ホール、ミューザ川崎シ ンフォニーホール、東京文化会館、軽井沢大賀ホール、モスクワ音楽院大ホー ル、クレムリン宮殿、ウクライナ国立フィルハーモニーホール、ウィーン楽友協会 大ホール、ウィーンコンツェルトハウス、シェーンブルン宮殿、等で演奏。2019 年/2020年シーズンには、オスロフィルハーモニー管弦楽団との共演や、ハン ブルク・エルプフィルハーモニー、北ドイツ放送協会ホール、ウィーン楽友協会 でのリサイタルを行うなど、日本とウィーンを拠点に世界各地で演奏活動を続け ている。故エレーナ・アシュケナージ、故中村紘子、ミヒャエル・クリスト、ボリス・ ペトルシャンスキーの各氏に師事。現在ウィーン国立音楽大学及びイモラ国際 ピアノアカデミーに在学。(公財)江副記念財団第35回奨学生。

髙木竜馬オフィシャル・ホームページ https://ryomatakagi.com

本日の公演について

「第2の国歌」と呼ばれる名曲があります。多くの人々が愛唱することで、その国を代表する歌として定着して、あたかも国歌のように親しまれている曲。 そのように自然発生的に生まれたものが「第2の国歌」と言えるでしょう。

たとえば、イギリスの作曲家エルガーが書いた行進曲『威風堂々』第1番の中間部は、歌詞を添えて「希望と栄光の国」の題で歌われることで、「第2の国歌」としての地位を獲得しています。また、フィンランドの作曲家シベリウスの交響詩『フィンランディア』も、人々の民族意識を高めた曲として、「第2の国歌」とみなされています。

「第2の国歌」はだれかが定めるものではありませんから、これから新たに 誕生してもおかしくはありません。「第2の国歌」にふさわしいのは、どんな曲 でしょうか。

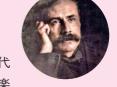


マエストロ尾高が世界各国で愛され親しまれる名曲の数々をご紹介します

©上野隆文

エルガー: 行進曲『威風堂々』第1番 大英帝国の栄華を伝える「希望と栄光の国」

サー・エドワード・エルガー(1857-1934)はイギリスを代表する作曲家のひとり。楽器商の家に生まれ、地元で音楽



教師として生計を立てながら、独学で作曲にはげみ、やがて国民的な作曲家として名声を獲得しました。とりわけよく知られているのが、この**行進曲『威風堂々』第1番**。大英帝国の栄光を象徴するような絢爛たる作品です。曲名の「威風堂々」とは、シェイクスピアの『オセロ』のセリフに由来し、壮麗で格式高いといったニュアンスが込められています。

冒頭、威勢よく開始される2拍子の行進曲は、小気味の良いリズムが特徴的。 前へ前へと進むというよりは、むしろ軽快で、どことなくユーモアも漂っています。

「第2の国歌」と呼ばれるのは、行進曲に続いて中間部に登場するゆったりとしたメロディ。国王エドワード7世からの要望で、作曲者が愛国的な歌詞を付けて頌歌に仕立てたことから、別名「希望と栄光の国」の題でも知られています。

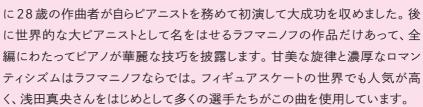
このメロディはイギリス「第2の国歌」であると同時に、国境を越えてスポーツや式典の音楽として親しまれています。日本でも学校の卒業式やサッカーの応援歌、テレビCMなど、耳にする機会の多い名曲です。



エルガーの故郷ウスターシャーを流れるセヴァーン川

ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番 ロシアが生んだロマンあふれる協奏曲

ロシアの作曲家セルゲイ・ラフマニノフ (1873-1943) の 出世作ともいえるのが、このピアノ協奏曲第2番。1901年



初演に至るまでには苦難の道がありました。若き日のラフマニノフは最初の大作、交響曲第1番を発表するも、酷評されてしまいます。そのとき指揮を務めたのは先輩作曲家のグラズノフ。一説によれば、酒好きのグラズノフが飲みすぎて指揮をしたため、演奏が大失敗に終わってしまったとか。ラフマニノフは自信と意欲を喪失してしまいますが、チェロをたしなむ精神科医のダーリ博士の心理療法を受けてスランプを克服し、ピアノ協奏曲第2番を完成させました。作品は恩人ダーリ博士に捧げられています。

第1楽章 モデラート 冒頭の序奏は故郷のロシア正教の鐘にインスピレーションを受けています。情熱的でメランコリックな曲想がくりひろげられます。

第2楽章 アダージョ・ソステヌート 物思いに沈むようなピアノ独奏と、オーケストラの柔らかい響きが、豊かな陰影を作り出します。

第3楽章 アレグロ・スケルツァンド 活発な舞曲風の主題に、優美で抒情的な主題が続きます。華やかな独奏ピアノと力強い管弦楽が一体となって、 輝かしいクライマックスへ。

シベリウス:交響詩『フィンランディア』 祖国フィンランドへの熱烈な賛歌

フィンランドの作曲家ジャン・シベリウス (1865-1957) の名を一躍広く知らしめたのが、この『フィンランディア』。作

曲当時、フィンランドはロシアの圧政下にありました。シベリウスは祖国フィンランドへの熱烈な賛歌として『フィンランディア』を作曲します。愛国的な楽想は聴衆から熱狂的に受け入れられ、大きな反響を呼びました。後に歌詞を添えて合唱曲にも編曲され、第2の国歌として親しまれることになりました。

曲の冒頭は金管楽器の重厚な響きで始まります。やがて勇壮な戦いのテーマがあらわれ、曲は次第に高揚感を増してゆきます。ゆったりとした賛歌が続き、最後は祖国の勝利が高らかに表現されます。

J. ウィリアムズ:組曲『スター・ウォーズ』 ハリウッドが生んだ20世紀のオーケストラ名曲

「遠い昔、はるか彼方の銀河系で……」。この名高いテロップとともに壮大なオープニングテーマによって開始される映画『スター・ウォーズ』。1977年に公開された第1作は一世を風靡してシリーズ化され、2019年の第9作でひとまずの完結を迎えました。広大な銀河を舞台に、強権的な帝国軍と戦うジェダイの騎士たちの物語は、冒険活劇の体裁をとりながらも、父と子、善と悪、組織と個人など、さまざまなテーマを盛り込んだ一大叙事詩として、世界中のファンを熱狂させています。

この『スター・ウォーズ』に欠かせないのがジョン・ウィリアムズの音楽。映画音楽の巨匠として知られるジョン・ウィリアムズ (1932-) は、ワーグナーのオペラと同様に、音楽を登場人物の性格や情景と深く結びつけて、物語性豊かな名曲を紡ぎだしました。オーケストレーションの華やかさも第一級。今や映画音楽の枠を超えた名曲になったと言ってもよいかもしれません。

第1曲 スター・ウォーズ メイン・タイトル 映画本編の序曲ともいうべき 高揚感あふれるテーマ曲。ブラス・セクションの輝かしいサウンドが聴きどころ。

第2曲 レイア姫のテーマ ヒロイン役であるレイア姫にふさわしく、フルートの可憐な旋律で開始され、ホルンの憧憬に満ちた旋律が続きます。

第3曲 帝国のテーマ(ダースベイダーのテーマ) 帝国軍を率いる暗黒の騎士ダースベイダーを表わす威圧的な行進曲。

第4曲 ヨーダのテーマ 銀河の自由と正義の守護者であるジェダイの老師ヨーダを表現。ヨーダの思慮深さと神秘性、そしてユーモアが反映されています。

第5曲 王座の間とエンド・タイトル シリーズ第1作の幕切れの音楽。 勝利を讃える祝祭的なファンファーレで開始されます。 作品中の主要テーマを ふりかえった後、メイン・タイトルで用いられたスター・ウォーズのテーマが回帰して、 華麗なエンディングへ向かいます。

本日はこの中から抜粋してお届けします。



『スター・ウォーズ エピソード 1/ファントム・メナス』に登場する砂漠の惑星タトゥイーンが撮影されたセット (チュニジアのトズール近郊)

いいお・よういち(音楽ジャーナリスト)/著書に『クラシック音楽のトリセツ』(SB新書)、『R40のクラシック』(廣済堂新書)、『マンガで教養 やさしいクラシック』監修(朝日新聞出版)他。雑誌やウェブ、コンサート・プログラム等に幅広く執筆する。テレビ朝日「題名のない音楽会」他、放送でも活動。

休日の「イ後のコンサート

7.23(木・祝) 12:00公演/15:00公演 東京オペラシティ コンサートホール

Thu./Holiday July 23, 2020, 12:00 Start /15:00 Start at Tokyo Opera City Concert Hall

<勝利への行進>

"March to Victory"

※指揮者プロフィールは 指揮とお話 尾高忠明 Tadaaki Otaka, conductor & speaker 3ページをご参照ください。

コンサートマスター 依田真宣 Masanobu Yoda, concertmaster

今井光也:オリンピック東京大会ファンファーレ(約30秒)

Mitsuya Imai: Fanfare for the 1964 Olympic Games Tokyo (ca. 30 sec)

古関裕而:東京オリンピック・マーチ(約5分)

Yuji Koseki: Olympic March and Sports Show March (ca. 5 min)

ネッケ: クシコス・ポスト(約2分)

Necke: Csikos Post (ca. 2 min)

カバレフスキー: 道化師のギャロップ Op. 26-2(約2分) Kabalevsky: Gallop from "The Comedians" suite Op. 26-2 (ca. 2 min)

ロッシーニ: 歌劇『ウィリアム・テル』序曲(約12分)

Rossini: Overture from Opera "William Tell" (ca. 12 min)

リンケ:行進曲『ベルリンの風』(約4分)

Lincke: Berliner Luft (ca. 4 min)

ベートーヴェン: 劇音楽『アテネの廃墟』Op. 113より第4曲「トルコ行進曲 I(約3分)

Beethoven: Turkish March from "The Ruins of Athens" Op. 113 (ca. 3 min)

エルガー: 行進曲 『威風堂々』 第1番 二長調 Op. 39-1 (約8分)

Elgar: Pomp and Circumstance March in D major, Op. 39-1 (ca. 8 min)

主催:公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業) | 独立行政法人 日本芸術文化振興会

Presented by Tokyo Philharmonic Orchestra

Subsidized by the Agency for Cultural Affairs Government of Japan | Japan Arts Council



- ※本公演には休憩はございません。
- ※本公演においては公演中もご入退場いただけます。再入場・途中入場の際には入場券 記載とは異なるお席への着席をお願いすることがございます。
- ※お帰りの際には、<ご来場者のご氏名・ご住所・電話連絡先>をご記入いただいた入場 券はがきをロビーの回収箱に投函してお帰りください。ご協力をお願い申し上げます。
- As there will be no intermission during the concert in order to preserve social distancing, entering and exiting during the performance will be tolerated. If you do not feel well, please exit or enter as you need. However, please mind the other listeners so that they will be minimally disturbed.
- If you enter or reenter in the middle of the concert, we may escort you to a seat different from the one you were originally assigned.
- Please write your name/address/phone number in the permission post card, and post it in the collection box in the lobby before you leave the concert. We would sincerely appreciate your cooperation.

オリンピックにちなむ心弾む楽曲の数々を 桂冠指揮者・尾高忠明による躍動感あふれる演奏で

今回の「休日の午後のコンサート」は、東京フィルの桂冠指揮者・尾高忠明がおくる〈勝利への行進〉。明日7月24日に開会式を迎える予定だった東京オリンピック2020にちなむ内容ですが、もっと広い意味で元気を与える(もらう)公演となりました。

最初の2曲は1964年オリンピック東京大会の楽曲。これらは、五輪関連であると同時に、希望の光を感じさせる音楽でもあります。「クシコス・ポスト」「道化師のギャロップ」と「ウィリアム・テル」序曲の「スイス軍の行進」は、日本の運動会の定番曲。懐かしくも胸が踊る快速ナンバーです。後半の「ベルリンの風」「トルコ行進曲」「威風堂々」は、国や地域の特徴が集約された行進曲。「ベルリンの風」はベルリンの市歌、「威風堂々」はイギリスの第2国歌的な存在として愛され、後者はサッカーの試合や様々なイベントでもおなじみです。

では、円熟の指揮で奏される元気な楽曲で、心も弾むひとときを過ごしましょう。



躍動感あふれる楽曲をマエストロ尾高の円熟の指揮でお楽しみください

前回の東京オリンピックの開幕を飾ったファンファーレと連続テレビ小説『エール』でも話題の古関裕而の行進曲

幕開けは1964年10月10日に行われた第18回オリンピック東京大会の開会式で披露された2曲。最初は今井光也(1922-2014)の「オリンピック東京大会ファンファーレ」です。この曲は公募によるもので、当選した今井は、三協精機に勤務する傍ら長野県の諏訪交響楽団の指揮者やフルート、ホルン奏者を務めていました。曲は僅か8小節ですが、意外にも短調で書かれた印象的な一節です。

続いては選手入場の音楽、古関裕而 (1909 – 1989) の「東京オリンピック・マーチ」です。古関は、夏の甲子園の大会歌「栄冠は君に輝く」、NHKスポーツ中継のテーマ「スポーツショー行進曲」や、阪神タイガースの「六甲おろし」、読売巨人軍の「闘魂こめて」、早稲田大学の「紺碧の空」、慶應義塾大学の「我ぞ覇者」といった応援歌のほか、「長崎の鐘」「君の名は」「高原列車は行く」「モスラの歌」など5000曲もの作品を生み出した昭和の名作曲家。今春スタートしたNHK連続テレビ小説『エール』でその半生が描かれています。

第二次大戦中の軍歌や戦時歌謡の創作を悔いていた古関は、平和の祭典の行進曲を依頼されて、いたく喜んだとのこと。彼が心血を注いで作曲したこの曲は、騎馬風の軽快なリズムを用いた溌剌たる音楽です。マーチ主部に優雅なトリオ (中間部)を挟んだ通常の形式の中で、比較的大規模な構成がなされており、最後に「君が代」の一節が登場します。

誰もが一度は耳にしたことがある運動会の定番曲 日本人にはおなじみの軽快な小品を2曲

ここからは運動会の定番曲が続きます。まずは**ヘルマン・ネッケ** (1850-1912) の「クシコス・ポスト」。ネッケは西部のデューレン市の音楽監督等を務めたドイツの作曲家ですが、ほとんど無名の存在で、ピアノ曲がオリジナルとされる本作も作曲年や経緯は不明です。ところが日本では1910年に楽譜が出版され、1960年代から運動会で使用されるようになりました。正確なタイトルはハンガリー語の「チーコシュ・ポシュット」で、「郵便馬車」を意味しています。曲はそ

の様子を描写した歯切れ良い小品。なお日本のみで普及していた本作は、ゲームソフトで多く用いられたことから、海外でも徐々に知られつつあるようです。

おつぎは明快な作風で知られる旧ソ連の作曲家**ドミトリー・カバレフスキー** (1904-1987) の**「道化師のギャロップ」**。本来は彼の代表作である組曲『道化師』の第2曲です。同組曲は1938年にモスクワで上演された児童劇「発明家と道化師」の付随音楽に基づく作品。この「ギャロップ」(馬の駆け足を意味する急速な舞曲) は、木琴が活躍する軽妙な佳曲です。

ロッシーニ最後のオペラの颯爽たる序曲 「スイス軍の行進」はこちらも運動会の定番曲

前半最後はイタリア初期ロマン派オペラの大家ジョアッキーノ・ロッシーニ (1792-1868) の歌劇『ウィリアム・テル』序曲。ロッシーニは、37歳時の1829年にパリで初演された本作でオペラの創作を終え、残る人生は悠々自適で過ごしました。このオペラは、スイスの独立を勝ち取る勇敢な人々を描いた、シラー原作の英雄劇。主人公が息子の頭に乗せたリンゴを矢で射る場面で有名なお話です。

序曲は物語に沿った4つの部分から成る小交響曲のような構成。第1部「夜明け」(タイトルは通称)は、独奏から五重奏に発展するチェロを中心に、スイスの夜明けが描かれます。第2部「嵐」は全楽器での激しい描写。フルートの小鳥のさえずりを経て、第3部「静けさ」へ移り、イングリッシュ・ホルンが美しい牧歌を奏でます。第4部「スイス軍の行進」はファンファーレに始まる急速な行進曲。広くおなじみの颯爽たる音楽です。



ウィリアム・テルの生誕地といわれる スイスのウーリ州にあるビュルグレン の教会の塔にはテルの姿が描かれて いる

ベルリン・フィルの野外コンサートでは手拍子や指笛も ベルリンの非公式の市歌であり、音楽の喜びの賛歌

後半はパウル・リンケ (1866-1946) の行進曲『ベルリンの風』で幕を開けます。リンケは"ベルリン・オペレッタの父"と呼ばれるドイツの作曲家。この行進曲は代表作『ルナ夫人』(1899年初演) に含まれた音楽です。本編は、ベルリンの冒険家たちが気球で月世界に行き、王妃のルナ夫人に歓待されることに始まる恋物語。ラストを盛り上げるこの曲は単独で親しまれ、ベルリンの非公式の市歌となっています。ちなみにタイトルの「Luft」は「風」の他に様々な意味があり、本作の場合は「空気」のニュアンスが強いようです。また本作は毎年6月に野外で行われるベルリン・フィルのヴァルトビューネ・コンサートのラストナンバーとしても有名。ウィーンにおける「ラデツキー行進曲」的な存在で、曲が始まると手拍子や歓声が巻き起こります。曲自体は2つの旋律をもった主部にトリオが挟まれる通常のマーチの構成ですが、2フレーズ目の3音の繰り返し部分で指笛を吹くのが習わしになっています。

アテネの街を行進するトルコの兵隊を描いた音楽はモーツァルトのピアノ曲と並ぶ"トルコ風"の代表作

代わってはルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン (1770 – 1827) の**劇音楽『アテネの廃墟』から第4曲「トルコ行進曲」**。かつて西欧ではトルコ趣味が流行し、当地の軍楽隊のテイストを用いた作品が多く生み出されました。1811年に書かれた本作は、モーツァルトのピアノ曲と並ぶその代表例



です。『アテネの廃墟』はハンガリーのペストの劇場の杮落し公演用の劇作品で、「主神ゼウスの怒りにふれて2000年間眠っていた芸術の女神ミネルヴァは、目を覚ますとアテネがトルコに支配されて廃墟と化していることを知り、新たな芸術の殿堂が生まれたペストに赴く」といったストーリー。この曲はアテネの町を行進するトルコの兵隊を描いた音楽です。ただし旋律自体は1809年作のピアノ曲「6つの変奏曲Op.76」の主題の転用。ここでは踏み込むようなリズムとピッコロや打楽器の響きがトルコの軍楽隊を表しています。



アテネのアクロポリスへの入り口として建設されたプロピュライアと呼ばれる門の遺跡

コンサートの最後の飾る『威風堂々』は 気高さと勇壮さを兼ね備えた行進曲の傑作



締めくくりは近代イギリスを代表する作曲家エドワード・エルガー(1857-1934)の行進曲『威風堂々』第1番。彼は「威風堂々」と題した行進曲を5曲書いていますが、1901年作の第1番が断然知られています、中でも中間部の気高い旋律は国王エドワード7世に激賞され、歌詞を付けることを勧められたエルガーは「希望と栄光の国」と題した歌にし、第2の国歌的な支持を得ることとなりました。曲は、勇壮かつ躍動的な主部に、上記の旋律が悠然と流れるトリオが続き、主部が繰り返された後、トリオの旋律が高らかに奏されます。

しばた・かつひこ (音楽ライター) /音楽マネージメント勤務を経て、フリーランスの音楽ライター、評論家、編集者となる。雑誌、公演プログラム、宣伝媒体、CDブックレット等への寄稿、プログラム等の編集業務のほか、一般向けの講演や講座も行うなど、幅広く活動中。著書に「山本直純と小澤征爾」(朝日新書)。

東京フィルだより

Nelcome back philharmonic

東京フィルメンバーからの メッセージをご紹介します。

本日は東京フィルの演奏会にお越しいただき、ありがとうございます。みなさまと同じように、音楽を愛してやまない者として、コンサートという時間を再び共有出来る事を心から嬉しく思うとともに、ご来場に深く感謝いたします。

コロナ禍で演奏会が次々と中止となるなか、 物理的な距離を保つ一方で、心と心が離れる ことのないよう、無関心にならず決して思いや りを忘れないよう、一表現者として発心し、日々 祈っておりました。そして、音楽とは、芸術とは 何かを思索、自問しておりました。

芸術とは、人と人とを結びつけるものです。 人間が取り得る、最も深いコミュニケーション の一つです。

私たちの活動が、お客様を通じて、世界に 届きますように。時空を超えて美しい未来へと つながりますように。本日はご来場ありがとうご ざいました。(コンサートマスター 近藤薫)

新型コロナウイルスの拡大により、世界が この数か月であっという間に変わってしまい ました。

ニュースやネットを見る度に、様々な感情

が沸き起こり、とても複雑な気持ちで毎日を 過ごしておりました。この先のことを思うと、ま だまだ不安が募るばかりです。

ですが、ここからまた希望をもう一度持って進んでいくためにも音楽は絶対に必要です。

東京フィルハーモニー交響楽団がその大切な1つのピースとなるよう、気持ちを込めて誠心誠意、この先も演奏して参りますので、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。(コンサートマスター 依田真宣)

物心つく前からヴァイオリンを弾いていた私にとって、この数か月は、なぜ自分が楽器を弾き続けているのか考える機会にもなりました。最初の1か月は今後リサイタルに使えるようなプログラムを組み立て練習したりしていましたが、自粛が2、3か月と続く今ではひたすらバッハと向き合う毎日です。アンサンブルが好きでオケやオペラが大好きな私ですが、和声に包み込まれることが自分の人生にとって重要なのかなと思ったりします。答えはまだ出ていません。(ヴァイオリン 景澤恵子)



息子が休校で家にいて、主人も別のオーケストラに勤めていて同じように休業になり、 今までにないくらい家族で一緒の時間を過ごすことができました。断捨離や模様替えをして家族それぞれがリモートワークをしたり、新しい生活をする為の改善をしました。

新型コロナの感染の恐怖による心の萎縮 やさまざまな不信感から殺伐とした世の中に なっている事を強く感じ、感染症とはちがう 恐怖を感じて過ごしてきました。私自身も感 染症を正しく理解し、冷静な対処や思いやり を忘れず過ごす事を心がけます。

エッセンシャルワーカーの皆様、特にコロナ 患者の方々を受け入れ、命がけで治療に尽 力してくださった医療従事者の皆様に心より 尊敬と感謝の気持ちでいっぱいです。エッセンシャルワーカーの方々のためのチャリティーコンサートが早くできたらいいと思います。(ヴァイオリン 吉永安希子)

2年前 我が日常は奪われた 上顎洞 (じょうがくどう) の 癌です と かなり進行してます と また一難 全人類が 新型の コロナの温に 巻き込まれ 全ての日常 奪われる 人と人とのハーモニー 音と振動ハーモニー 創り出したる 楽士たち それに立ち会い 紡ぎ出す 交響楽を 愛す人

全ての一会が奪われし 斯くなる事態に われ歎ず

こんな折こそ 魂の 迸る音 紡ぎ出し ソーシャルディスタンス 客席の 方々の心に 送りたし(コントラバス 遠藤 柊一郎)

この2か月間は、徒歩5分のスーパーに行くだけ。長い休みがないとできないリードの変更、毎日の昼飯作り、10年放置していたプラモデルを作ったり。生徒にリードを送るために殺菌用のUVCライトを通販で購入しました。配送の皆さまに感謝です。医療従事者はもちろんこんな中でも仕事に出なければならない人がいるのに、オケは何も出来ないのが悔しいです。(オーボエ首席 佐竹正史)

率直に、演奏家は人前で輝く仕事ゆえ、その機会が無いと素直に凹む。やはり人生は緊張感と気持ちの張りが、必要と強く感じた期間でした。(トランペット首席 古田俊博)

News & Information

第一ヴァイオリン 二宮純(1984年入団)が2020年4月末をもって 定年退職いたしました。

「4月末日をもちまして東京フィルを退職いたしました。

最後の仕事は3月9日にオペラシティで行われた題名のない音楽会の収録でした。その収録も既に無観客で行われましたが、その後のコロナウイルス感染拡大の為に全ての仕事がキャンセルになり何もしないままの退団。思わぬ形での退団となってしまいました。



35年の在団の中で様々なマエストロやソリストとの共演を重ねましたが一つ一つが大切な思い出となっています。

合併後は特にマエストロ チョン・ミョンフンと重ねたコンサートの積み重ねが演奏家と して大切な大切な財産となっています。

今オーケストラは大変な苦境に面していますが音楽を愛する人々がいらっしゃる限り オーケストラは生き抜いて行けるものと思っています。私も負けずにまだまだ音楽の道 に進んで行こうとおもっております」。

>コメント全文はウェブサイトからご覧いただけます。 https://www.tpo.or.jp/information/detail-20200520-02.php



ファゴット首席奏者 大澤昌生(1990年入団)が2020年4月末をもって 定年退職いたしました。

「この4月いっぱいで定年退職をしましたファゴット奏者の大澤です。東京フィルと合併する前の新星日響の時代から、楽員・事務局員のみなさんに支えられながらの32年間を終えることが出来ました。しかし、まさかこのような状況下でこの日を迎えるとは、考えもしませんでした。そしてこんな状況だからこそ、今まで一番自分を支えてくれたのは他ならぬ聴衆の方々、貴重な時間とお金を割いて演奏会場に足を運んでくださった



方々だったのだと心から実感し感謝しています。聴衆の皆様、同僚たち、事務局員の みなさん、心から感謝いたします。どうか感染にはくれぐれも注意なさって、この困難な 時期をお互い乗り越えていきましょう。どうも有難うございました」。

>コメント全文はウェブサイトからご覧いただけます。 https://www.tpo.or.jp/information/detail-20200510-01.php



ご支援の御礼とお願い

今般の新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、2月下旬より東京フィルが出演する 演奏会の全てが中止・延期となりました。東京フィルの財源は演奏料収入がほとんど を占めるため、演奏会およびチケット収入の壊滅は団体存続の危機に直結いたしま す。そのような中、たくさんの励ましのお言葉とともに、中止公演のチケット払戻し辞退 によるご寄附や、銀行振込等による温かいご支援をいただきました。心よりお礼申し 上げます。

このたび、約4か月ぶりに演奏会の再開には漕ぎ着けたものの、感染症拡大防止の観点から、当面の間は規模を縮小しての開催が見込まれております。

皆様のご寄附が大きな力となります。引き続いてのご支援をお願い申し上げます。

弊団へのご寄附をいただけます際には、こちらの口座のいずれかにお振込みいただけましたら幸いです。1万円以上のご寄附をご検討いただける際は、賛助会(本冊子27ページ)も併せてご覧ください。

金融機関名	口座番号	口座名義
ゆうちょ銀行 (郵便振替)	00120-2-30370	公益財団法人
三井住友銀行· 東京公務部(096)	普通預金 3003239	東京フィルハーモニー交響楽団

- ※ 寄附金額は自由に設定いただけます。
- ※ 振込手数料、通信費は恐れ入りますがご負担くださいますようお願い申し上げます。
- ※ 領収証書が必要な方は、別途配布しております「寄附申込書」に必要事項を記入して、下記送付先へご送付ださい。寄附申込書の書式については、下記ウェブサイトまたは問合せ先へご照会ください。本日の会場でもお配りしております。 ______

寄附申込書のダウンロードはこちらから https://www.tpo.or.jp/support/img/support_TPO.pdf

【寄附申込書 送付先/お問合せ】

公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団·広報渉外部 寄附担当 〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8階 Fax 03-5353-9523

Tel 03-5353-9521(土日祝日を除く10時~18時)

盛夏の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。 この季節に相応しい、躍動感溢れる演奏をお楽しみください。 引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



東京フィルハーモニー交響楽団 理事長 三木谷 浩史

替助会

東京フィルハーモニー交響楽団の活動は、

法人並びに個人(パートナー会員)の皆様のご寄附により支えていただいております。 ここにそのご芳名を掲げ、改めて御礼申し上げます。

オフィシャル・サプライヤー (敬称略)

ソニー(株) 代表執行役 会長 兼 社長 CEO 吉田 憲一郎

楽天株式会社 代表取締役会長兼社長 三木谷 浩史

株式会社マルハン 代表取締役会長 韓 昌祐

株式会社ロッテ 代表取締役社長執行役員 牛膓 栄一

株式会社ゆうちょ銀行 取締役兼代表執行役社長 池田 憲人

法人会員

賛助会員 (五十音順·敬称略)

(株)IHI 代表取締役社長 満岡 次郎 (株)インターテクスト 代表取締役 海野 裕 (株)アイエムエス 取締役会長 前野 武史 ANAホールディングス(株) 代表取締役社長 片野坂 真哉 理事長 相澤 研一 相澤内科医院 (株)NHKエンタープライズ 代表取締役社長 安齋 尚志 アイ・システム(株) 代表取締役会長 兼 社長 松崎 務 桜美林大学 総長 佐藤 東洋士 (株)アシックス 代表取締役会長CEO 尾山 基 大塚化学(株) 特別相談役 大塚 雄二郎

(株)オーディオテクニカ	代表取締役社長	松下 和雄	東急(株)	取締役社長	髙橋 和夫
(公財)オリックス宮内財団	代表理事	宮内 義彦	東京オペラシティビル(株)	代表取締役社長	三和 千之
花王(株) 代表[取締役 社長執行役員	澤田 道隆	東レ(株)	代表取締役社長	日覺 昭廣
カシオ計算機(株)	代表取締役社長	樫尾 和宏	トッパン・フォームズ(株)	代表取締役社長	坂田 甲一
キヤノン(株) 代表	表取締役会長 CEO	御手洗 冨士夫	トヨタ自動車(株)	代表取締役社長	豊田 章男
(株)グリーンハウス	代表取締役社長	田沼 千秋	DOWAホールディングス(株)	代表取締役社長	関口 明
(株)ケイブ	取締役会長	高野 健一	(株)ニチイケアパレス	代表取締役	齊藤 正俊
(医)浩仁会 矢田眼科医	院 理事長	矢田 浩二	(株)ニフコ	代表取締役社長	山本 利行
コスモエネルギーホールディングス(株)	代表取締役社長 社長執行役員	桐山 浩	日本ライフライン(株)	代表取締役社長	鈴木 啓介
サントリーホールディングス(株)	代表取締役社長	新浪 剛史	(株)パラダイスインターナショ	トル 代表取締役	新井 秀之
信金中央金庫	理事長	柴田 弘之	富士電機(株)	代表取締役社長	北澤 通宏
新菱冷熱工業(株)	代表取締役社長	加賀美 猛	(株)不二家	代表取締役社長	河村 宣行
(株) J.Y.PLANNING	代表取締役	遅澤 准	(株)プライムステーション	代表取締役	浅田 亨
(株)滋慶	代表取締役社長	田仲 豊徳	丸紅(株)	取締役会長	國分 文也
(株)ジーヴァエナジー	代表取締役社長	金田 直己	(株)三井住友銀行	頭取CEO	髙島 誠
ジューテックホールディングス(株)	代表取締役会長	足立 建一郎	三菱商事(株)	代表取締役社長	垣内 威彦
菅波楽器(株)	代表取締役社長	菅波 康郎	三菱倉庫(株)	相談役	宮﨑 毅
相互物産(株)	代表取締役会長	小澤 勉	(株)三菱UFJ銀行	特別顧問	小山田 隆
ソニー(株) 代表執行役	会長 兼 社長 CEO	吉田 憲一郎	(株)明治	代表取締役社長	松田 克也
ソニー生命保険(株)	代表取締役社長	萩本 友男	森ビル(株)	代表取締役社長	辻 慎吾
(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント	代表取締役社長	村松 俊亮	ヤマトホールディングス(株)	代表取締役社長	長尾 裕
(株)大丸松坂屋百貨店	代表取締役社長	澤田 太郎	(株)山野楽器	代表取締役社長	山野 政彦
高砂熱学工業(株)	代表取締役社長	小島 和人	ユニオンツール(株)	代表取締役会長	片山 貴雄
(株)タクト	代表取締役	苗代 政治	楽天(株)	代表取締役会長兼社長	三木谷 浩史
都築学園グループ	総長	都築 仁子	(株)リソー教育	取締役会長	岩佐 実次
(株)テクノスジャパン	代表取締役社長	吉岡 隆			

後援会員

欧文印刷(株)	代表取締役社長	和田 美佐雄	(株)日税ビジネスサービス	代表取締役会長兼社長	吉田 雅俊
(有)オルテンシア	代表取締役	雨宮 睦美	富士通(株)	代表取締役社長	時田 隆仁
(医)カリタス菊山医院	理事長	加藤 徹	本田技研工業(株)	代表取締役社長	八郷 隆弘
(株)京王エージェンシー	代表取締役社長	大里 公二	三菱地所(株)	執行役社長	吉田 淳一
(医)だて内科クリニック	理事長	伊達 太郎	三菱重工業(株)	取締役社長	泉澤 清次
(宗)東京大仏·乗蓮寺	代表役員	若林 隆壽	三菱電機(株)	執行役社長	杉山 武史
(一社)凸版印刷三幸会	代表理事	足立 直樹			

ご支援のお願い

2020年3月、東京フィルハーモニー交響楽団は創立109年を迎えました。

1月に新シーズン開幕を迎えた東京フィルは、1月から12月までの一年を通じて、皆様の暮らしと共に響きあう音楽をお届けし、心豊かな社会へと繋ぐ役割を担います。また、定期演奏会や「午後のコンサート」、特別演奏会や提携都市公演ほか多様な音楽活動を通して、国際的に活躍する演奏家や将来を嘱望された若手演奏家らと共に様々な作品に取り組み、より広く多くの皆様にオーケストラの価値を認知いただけるよう尽力いたします。そして、日本の芸術文化発展に寄与すべく、多様化するグローバルな社会において文化交流の架け橋となるよう、より一層努めてまいります。

是非とも皆様方からお力添えを賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

東京フィルハーモニー交響楽団

ご寄附会員の種別

	種別	年会費1口				
オフィシャル・サプライヤー		詳細はお問い合わせください。				
法人会員	賛助会員	50万円				
広八云貝	後援会員	30万円	※東京フィルハーモニー交響楽団は			
パートナー会員	ワンハンドレッドクラブ	100万円	内閣府により「公益財団法人」に認			
	フィルハーモニー	50万円	定されており、ご寄附の金額に応じて税法上の優遇措置を受けることができます。 その他特典、お申込みや資料請求な			
	シンフォニー	30万円				
	コンチェルト	10万円				
	ラプソディ	5万円	ど、詳しくは東京フィル広報渉外部			
	インテルメッツォ	3万円	担当へお問合せください。			
	プレリュード	1万円				

寄附をご検討くださいます際には、主催公演会場「賛助会デスク」または 東京フィル担当(partner@tpo.or.jp)までお尋ねください。資料をお送りいたします。 ご入会の後は、1年ごとに継続のご案内をお送りいたします。

【賛助会に関するお問合せ・お申込み】

東京フィルハーモニー交響楽団 広報渉外部 (担当: 星野·鹿文)

電話: 03-5353-9521(平日10時~18時) Eメール: partner@tpo.or.jp

東京フィルハーモニー交響楽団 1911年創立 楽団員

Tokyo Philharmonic Orchestra Since 1911 / Musicians

名誉音楽監督

Honorary Music Director

チョン・ミョンフン Myung-Whun Chung

首席指揮者

Chief Conductor

アンドレア・バッティストーニ

Andrea Battistoni

桂冠指揮者

Conductor Laureate

尾高 忠明 Tadaaki Otaka

大野 和士

Kazushi Ono

ダン・エッティンガー

Dan Ettinger

特別客演指揮者

Special Guest Conductor

ミハイル・プレトニョフ

Mikhail Pletnev

レジデント·コンダクター

Resident Conductor

渡邊 一正

Kazumasa Watanabe

アソシエイト・コンダクター Associate Conductor

チョン・ミン

Min Chung

永久名誉指揮者

Permanent Honorary Conductor

山田 一雄

Kazuo Yamada

永久楽友·名誉指揮者

Permanent Member and

Honorary Conductor

大賀 典雄

Norio Ohga

コンサートマスター Concertmasters

近藤 薫

近藤 黒 Kaoru Kondo 三浦 章宏

Akihiro Miura 依田 真宣 Masanobu Yoda 第1ヴァイオリン First Violins

小池 彩織☆ Saori Koike 榊原 菜若☆

Namo Sakakibara 坪井 夏美☆ Natsumi Tsuboi

栃本 三津子☆ Mitsuko Tochimoto

平塚 佳子☆ Yoshiko Hiratsuka

浅見 善之 Yoshiyuki Asami

浦田 絵里 Eri Urata

景澤 恵子 Keiko Kagesawa

加藤 光

巖築 朋美 Tomomi Ganchiku

坂口 正明 Masaaki Sakaguchi

鈴木 左久 Saku Suzuki

高木 祐香 Yuuka Takagi

高田 あきの Akino Takada 田中 秀子

Hideko Tanaka 津田 好美 Yoshimi Tsuda

中澤 美紀 Miki Nakazawa 中丸 洋子

Hiroko Nakamaru 廣澤 育美

Ikumi Hirosawa 弘田 聡子 Satoko Hirota

松田 朋子 Tomoko Matsuda 第2ヴァイオリン Second Violins

戸上 眞里◎ Mari Togami 藤村 政芳◎

Masayoshi Fujimura 水鳥 路〇 Michi Mizutori

· 宮川 正雪◎ Masavuki Mivakawa

小島 愛子☆ Aiko Koiima

高瀬 真由子☆ Mayuko Takase

山内 祐子☆ Yuko Yamanouchi

石原 千草 Chigusa Ishihara 出原 麻智子

Machiko Idehara 太田 慶

Kei Ota

葛西 理恵 Rie Kasai

黒沢 誠登 Makoto Kurosawa 佐藤 実江子

Mieko Sato 二宮 祐子

Yuko Ninomiya 藤瀬 実沙子

Misako Fujise 山代 裕子

Yuko Yamashiro 吉田 智子

Tomoko Yoshida 吉永 安希子 Akiko Yoshinaga

若井 須和子

渡邉 みな子 Minako Watanabe ヴィオラ Violas

須田 祥子◎ Sachiko Suda

須藤 三千代◎ Michiyo Suto

髙平 純◎

加藤 大輔〇 Daisuke Kato

伊藤 千絵 Chie Ito

岡保 文子 Ayako Okayasu

曽和 万里子

高橋 映子

手塚 貴子 Takako Tezuka

中嶋 圭輔

Keisuke Nakajima 蛭海 たづ子 Tazuko Hirumi

古野 敦子 Atsuko Furuno

村上 直子

Naoko Murakami

森田 正治 Masaharu Morita チェロ Cellos

金木 博幸◎ Hiroyuki Kanaki

服部 誠◎ Makoto Hattori

渡邉 辰紀◎

黒川 実咲☆ Misaki Kurokawa 高麗 正史☆

Masashi Koral 石川 剛 Go Ishikawa

大内 麻央 Mao Ouchi

太田 徹 Tetsu Ota 菊池 武英

新他 武央 Takehide Kikuchi 佐々木 良伸

Yoshinobu Sasaki 長谷川 陽子 Yoko Hasegawa

渡邊 文月 Fuzuki Watanabe コントラバス Contrabasses

片岡 夢児◎ Yumeii Kataoka

黒木 岩寿◎

小笠原 茅乃〇 Kayano Ogasawara

遠藤 柊一郎 Shuichiro Endo

岡本 義輝 Yoshiteru Okamoto

小栗 亮太 Ryota Oguri 熊谷 麻弥

Maya Kumagai 菅原 政彦 Masahiko Sugawara

田邊 朋美 Tomomi Tanabe

中村 元優

Motomasa Nakamura

フルート Flutes

神田 勇哉◎ Yuya Kanda

斉藤 和志◎ Kazushi Saito

吉岡 アカリ〇 Akari Yoshioka

さかはし 矢波 Yanami Sakahashi 下払 桐子

ト払 桐子 Kiriko Shimobarai 名雪 裕伸 Hironobu Nayuki オーボエ Obnes

荒川 文吉〇 Bunkichi Arakawa

加瀬 孝宏〇

Takahiro Kase)佐竹 正史◎

Masashi Satake 杉本 真木 Maki Sugimoto

三谷 真紀 Maki Mitani

若林沙弥香 Sayaka Wakabayashi

クラリネット Clarinets

チョ・スンホ© Sungho Cho

Sungho Cho アレッサンドロ・ ベヴェラリ◎

Alessandro Beverari 万行 千秋〇 Chiaki Mangyo

黒尾 文恵 Fumie Kuroo 林 直樹

林 直樹 Naoki Hayashi

ファゴット Bassoons

チェ・ヨンジン© Young-Jin Choe

廣幡 敦子〇 Atsuko Hirohata

井村 裕美 Hiromi Imura 桔川 由美

Yumi Kikkawa 森 純一 Junichi Mori ホルン Horns

磯部 保彦◎ Yasuhiko Isobe

齋藤 雄介◎ Yusuke Saito

高橋 臣宜◎ Takanori Takahas 今井 彰

イナード Akira Imai 大東 周 Shu Ohigashi

木村 俊介 Shunsuke Kimura

田場 英子 Eiko Taba

塚田 聡 Satoshi Tsukada 豊田 万紀

Maki Toyoda 古野 淳

Jun Furuno 山内 研自 Kenji Yamanouchi

山本 友宏 Tomohiro Yamamoto

トランペット Trumpets

川田 修一© Shuichi Kawata

野田 亮〇 Ryo Noda

古田 俊博◎ Toshihiro Furuta 重井 吉彦

Yoshihiko Shigei 杉山 眞彦 Masahiko Sugiyama

前田 寛人 Hirohito Maeda トロンボーン Trombones

五箇 正明〇 Masaaki Goka 中西 和泉〇 Izumi Nakanishi

辻 姫子〇

石川 浩 Hiroshi Ishikawa 平田 慎 Shin Hirata

山内 正博 Masahiro Yamauchi

テューバ Tubas

大塚 哲也 Tetsuya Otsuka

荻野 晋 Shin Ogino

chi ティンパニ& パーカッション oto Timpani & Percussion

岡部 亮登◎

塩田 拓郎◎ Takuro Shiota

高野 和彦〇 Kazuhiko Takano

木村 達志 Tatsushi Kimura

鷹羽 香緒里 Kaori Takaba

縄田 喜久子 Kikuko Nawata 船迫 優子 Yuko Funasako

古谷 はるみ Harumi Furuya ハープ Harps

梶 彩乃 Ayano Kaji

田島 緑 Midori Tajima 宮原 真弓 Mayumi Miyahara

ライブラリアン Librarians

武田 基樹 Motoki Takeda

ステージマネージャー Stage Managers

稲岡 宏司

Hiroshi Inaoka 大田 淳志 Atsushi Ota

古谷 寛 Hiroshi Furuva

> ◎首席奏者 Principal

○副首席奏者 Assistant Principal

☆フォアシュピーラー Vorspieler

東京フィルハーモニー交響楽団

1911年創立。日本で最も長い歴史をもつオーケストラ。メンバー約130名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督チョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフを擁する。Bunkamuraオーチャードホール、東京オペラシティコンサートホール、サントリーホールでの定期演奏会や「渋谷/平日/休日の午後のコンサート」等の自主公演、新国立劇場等でのオペラ・バレエ演奏、『名曲アルバム』『NHKニューイヤーオペラコンサート』『題名のない音楽会』『東急ジルベスターコンサート』などの放送演奏、各地学校等での訪問コンサート等により、全国の音楽ファンに親しまれる存在として、高水準の演奏活動とさまざまな教育的活動を展開している。海外公演も積極的に行い、国内外から高い評価と注目を得ている。

1989年からBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。

Tokyo Philharmonic Orchestra

In 2011, the Tokyo Philharmonic Orchestra celebrated its 100th anniversary as Japan's first symphony orchestra. With about 130 musicians, TPO performs both symphonies and operas regularly. TPO is proud to have appointed Maestro Myung-Whun Chung, who has been conducting TPO since 2001, as Honorary Music Director, Maestro Andrea Battistoni as Chief Conductor and Maestro Mikhail Pletnev as Special Guest Conductor.

TPO has established its world-class reputation through its subscription concert series, regular opera and ballet assignments at the New National Theatre, and a full, ever in-demand agenda around Japan and the world, including broadcasting with NHK Broadcasting Corporation, various educational programs, and tours abroad.

TPO has partnerships with Bunkamura Orchard Hall, the Bunkyo Ward in Tokyo, Chiba City, Karuizawa Cho in Nagano and Nagaoka City in Niigata.



©上野隆文

役員等·事務局·団友

■ 役員等(理事・監事および評議員)

理事長	理事	監事	評議員
三木谷 浩史	浮舟 邦彦	岩崎 守康	伊東 信一郎
	大賀 昭雄	山野 政彦	海老澤 敏
副理事長	大塚 雄二郎	佐治 信忠	
黒柳 徹子	小山田 隆		鈴木 勲
専務理事	篠澤 恭助		鈴木 啓介
石丸 恭一	田沼 千秋		瀬谷 博道
H > 2 1,	寺田 琢		日枝 久
常務理事	遠山 敦子		南 直哉
工藤 真実	野本 弘文		
	韓 昌祐		
	平井 康文		
	宮内 義彦		

事務局

楽団長 石丸 恭一 事務局長 工藤 真実	公演事業部 市川 端 井織 大久保 紀報 大谷 絵 報 茶 佐藤 村尾 真希子	ステージマネージャー 稲岡 宏司 大田 淳志 古谷 寛	ライブラリアン 武田 基樹	広報渉外部 伊藤 唯 鹿又 紀乃 千木木 憲史 二木 東子 二本野 女 ひさえ	総務経理 川原 明夫 鈴木 美絵
				安田 ひとみ	

■団友

安藤 栄作	岡部 純	河野 啓子	佐野 恭一	長池 陽次郎	細洞 寛
池田 敏美	小榑 敦子	近藤 勉	清水 真佐子	長岡 愼	本田 詩子
糸井 正博	小山 智子	今野 芳雄	瀬尾 勝保	長倉 穣司	松澤 久美子
井料 和彦	甲斐沢 俊昭	齊藤 匠	高岩 紀子	新田 清枝	湊 貞男
岩崎 龍彦	加藤 明広	坂口 和子	高村 千代子	新田 伸雄	山屋 房子
植木 佳奈	加藤 博文	嵯峨 正雄	竹林 良	野仲 啓之助	吉田 啓義
上野 眞行	金崎 真由美	嵯峨 美穂子	竹林 陽子	玻名城 昌子	米倉 浩喜
生方 正好	川人 洋二	桜木 弘子	田中 千枝	福村 忠雄	脇屋 俊介
大兼久 輝宴	木村 友博	笹 翠	田村 武雄	藤原 勲	
大和田 皓	黒川 正三	佐々木 等	戸坂 恭毅	細川 克己	

〈発行日〉2020(令和2)年7月2日 〈発行人〉石丸 恭一

〈発行所〉東京フィルハーモニー交響楽団

〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8F Tel 03-5353-9521 Fax 03-5353-9523

フランチャイズ·ホール: Bunkamuraオーチャードホール 提携: 千葉市 文京区 軽井沢町 長岡市

〈デザイン〉 米田デザイン事務所 〈表紙画〉ハラダチエ 〈編集協力〉ひとま舎

〈印 刷〉欧文印刷株式会社

